

栄枯盛衰は世の倣いなれど…

JJ1SXA/池

栄枯盛衰は世の倣いなれど…、隆盛を極めていると思っている240グループが、何かあつという間に衰退するような現象に驚き、「240の現状と将来に危惧を感じ、年頭に思う」という記事で最初に警鐘を發したのは、平成10年3月のことで、その後、平成18年3月に「偏に風の前の塵に同じ」という記事を書き、「240 はこれで良いのか？」という記事を發表したのは、平成22年3月の事です。

然しある部分勘違いしていたというか、世の流れを読み間違っていたようだ、240だけで無く、アマチュア無線界全体の現象だったのです、少子高齢化とか、携帯電話の発達とか色々言われますが、その他諸々の原因が重なったのでしょう。

当時私の危惧していたことは、メンバーの減少と共に、イベントの参加者の激減がありました、そして私が提唱していた、上級ハムへの挑戦、CWへの挑戦に反応が少なかったこと、また一部で、VoIPの食わず嫌いの反発があり、これを無くす等諸々ありました。

HPに「240グループ実践目標」というのが掲げてあります。(240グループの各局、直ぐやるべき事、できる事から始め、最終的には実践目標を全てクリアするように頑張らましよう！！)という内容です。

1、変更届を！！

これは、上級免許を取り、出力をアップは免許内でも、変更届をしていないと他局には違法な運用ととられます、そんなことの無いよう、免許内容に変動があった場合は、即変更届を忘れず提出しましょうということです。

2、ルールを守って楽しみましょう。

1の内容も含みますが、常にルール違反とならない運用をしましょうということです。

3、CW運用を始めましょう(3アマは必須)

240グループは、SSBモバイルグループと謳っていますが、同時に「より遠く」も合言葉の一つです、「遠い所からSSBで厳しくなったら、CWでQSO」も申し合わせ事項に入っています、そのためには、3アマ以上は必須ですということです。

4、1アマに挑戦しましょう！！

固定局で遠いモバイル局とQSOする場合、出力が高ければ、モバイル局はそれだけ安全運転に専念できます、現在は、200ワットまでは検査無しで免許されます、2アマでも良いのですが、1アマのハードルは昔よりかなり下がっています、折角だから2アマで無く、1アマを目指しましょうということです。

現在メンバーは故人となられた人は別に、抜ける人は少なく、新規或いは復活等で微増の傾向で喜んでいます。

また、今や、3アマが講習で簡単に取得できるようになったこと、CWコンテストに参加する局の増加、FT8は当たり前等々で、懸念の殆どは解消しています、欲を言えば、3アマに満足せず、その上に挑戦してもらいたい事がありますし、もう一つ大きな悩み、掲げて無かったがTWO-FORTY誌への寄稿が増えていない事です。(2022年1月記)